

名古屋大学大学院教育発達科学研究科・講師または准教授公募要領

1	募 集 件 名	講師または准教授の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻心理社会行動科学講座	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] 本公募では、認知心理学の研究領域において、優れた業績と国際的な研究活動の実績を有する人物を募集します。最先端の認知心理学領域の研究を推進し、研究科、および専攻の教育研究の発展に貢献できる人物を求めます。 （雇入れ直後） ・大学院教育発達科学研究科、教育学部における教育研究・運営・その他活動全般 ・大学院教育発達科学研究科、教育学部における専門科目の担当（その他認知心理学・関連科目の講義などを含む） [担当する可能性のある科目（隔年開講を含む）] 認知行動学講義Ⅰ（知覚・認知心理学）、学習行動学講義Ⅱ（学習・言語心理学）、パーソナリティ発達学講義Ⅰ（感情・人格心理学）、心理行動科学実験演習Ⅰ（心理学実験）、心理行動科学実験演習Ⅱ（心理学研究法）、心理行動科学実験演習Ⅷ[上級実験法] 等 ・大学院教育発達科学研究科の大学院生、教育学部学生への教育・研究指導 ・全学教育科目(教職科目を含む)の担当 ・協力講座英語開講科目の担当 ・教育学部附属学校との研究教育の協働 ・その他必要とされる業務 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 講師、または准教授・1名 [着任時期] 2027年4月1日以降のできるだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	人文・社会
		小分類	認知心理学
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から6か月）	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者 ・現代的な課題に対し人間発達科学の視点から認知心理学の研究を行っている者 ・国際的な研究活動の実績を有する者 ・職務を遂行するために必要な日本語および英語の能力を有する者 ・認知心理学関連領域の教養教育、学部・大学院専門教育と研究指導（外国人留学生を含む）、および組織の管理・運営に熱意と責任感を持ち、協調性をもって取	

		り組める者 ・募集内容に関連する講義、演習、実習などの教育経験があることが望ましい
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026年9月11日まで
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1. 履歴書（書式自由、電話番号、メールアドレスを記載し、写真貼付のこと） 1部 2. 研究業績リスト（別紙様式） 1部 3. 主要論文 5篇以内（電子ファイルにて提出） 各1部 4. これまでの研究活動の概要（2,000字程度） 1部 5. 着任後の教育研究に関する抱負（2,000字程度） 1部 6. 応募者について照会可能な方2名の氏名と所属、連絡先 7. 「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」（その他欄に記載） 1通 ※以下のリンク先から「研究・教育業績リスト」、「類型該当性の自己申告書」の書式をダウンロードして使用してください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/NL5TnpcCa3Ne3JX ※選考に際し、追加で書類の提出を求めることがあります。 [書類送付先] 以上の書類を、応募期間内（必着）に JREC-IN Portal Web からご提出ください。 問い合わせ先：名古屋大学大学院教育発達科学研究科心理発達科学専攻 五十嵐祐 電話：052-789-2659（心理事務） メール：igarashi.tasuku.n6 [at] f.mail.nagoya-u.ac.jp [選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施します。 ・面接実施者については、メールあるいは電話で連絡を行います。 なお、面接を実施する場合の交通費等は自己負担となります。 ・選考にあたっては、教育・研究内容についてプレゼンテーションを行っていただきます。

		・採否はメールまたは書面で連絡します。
11	そ の 他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・出産、育児、介護、病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を応募書類に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーイバシティセンター Web サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ピロニング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用いたしません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却いたしません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。